

本県の文化芸術の現状と課題について

1 本県における文化芸術の現状と課題

(1) 県民の文化芸術活動

■ 文化芸術への関心	1
■ 文化芸術活動の活動分野	
①「学習・研究」の分野では何を行いましたか。	1
②「趣味・娯楽」の分野では何を行いましたか。	2
■ 県が今後取り組むべき文化芸術振興施策	3
■ 県内の芸術家	3
■ NPO・ボランティア活動	4

(2) 文化芸術団体の現状

■ 活動状況	4
■ 会員数	4
■ 活動を妨げる要因	5
■ 行政が取り組む施策・役割	5
■ 県民との関わり	6
■ 企業等からの支援	6
■ 県民芸術文化協会加盟団体の傘下団体数及び会員数	6

(3) 文化施設の現状

■ 文化施設数	7
■ 県立文化施設の利用状況	7
■ 県内美術館入館者数	7
■ 指定管理者導入状況	8

(4) 地域の伝統文化

■ 県内無形民俗文化財の現況	8
----------------	---

(5) 子どもたちの文化活動

■ 伝統芸能・伝統工芸学習に取り組んでいる学校数	
①平成 19 年度の状況	9
②年度別取組延べ学校数	9

■ 長野県学校巡回劇場	10
■ 本物の舞台芸術体験事業	10
(6) 文化財の保護・継承・活用	
■ 指定文化財件数	10
■ 国指定・登録文化財の全国順位	11
(7) 文化芸術を活かした地域づくり	
<主な事例>	11
(8) 国・県・市町村等の文化芸術振興施策	
■ 文化芸術関連事業への国・県及び関連団体の主な助成実績	12
■ 建造物等有形文化財の修理、防災等に対する補助実績	13
■ 無形民俗文化財の保存、伝承等に対する補助実績	13
■ 文化芸術関係経費の推移	13
■ 文化芸術振興に係る市町村アンケート	
①文化芸術振興施策	14
②文化芸術活動への支援についての課題	14
(9) 現状と課題(まとめ)	15
2 文化芸術を取り巻く社会情勢の変化	18

1 本県における文化芸術活動の現状

(1) 県民の文化芸術活動

■ 文化芸術への関心（平成 19 年 県政世論調査）

文化芸術についてどの程度関心をお持ちですか。 n=1,439	H11 (%)	H19 (%)
非常に関心がある	12.3	14.9
ある程度関心がある	56.3	51.2
あまり関心がない	19.9	19.5
まったく関心がない	2.4	2.6
どちらとも言えない	7.7	9.0
不明	1.4	2.8

■ 文化芸術活動の活動分野（平成 18 年 社会生活基本調査（注））

（注）社会生活基本調査—自由時間等における「インターネットの利用」、「学習・研究」、「スポーツ」、「趣味・娯楽」、「ボランティア活動」及び「旅行・行楽」等について調査

① 「学習・研究」の分野では何を行いましたか。

* 「学習・研究」…知識・教養を高めるため、仕事に役立てるために行った活動で学業や仕事そのものの活動は含まれない
(行動者率 単位：%)

活動種類	H13	H18			H18
	長野県	長野県	全国順位	推計行動者数 (千人)	全国
全体	35.8	34.1	12位	662	35.2
芸術・文化	9.5	11.1	11位	215	11.2
パソコンなどの情報処理	13.6	9.4	33位	183	11.7
家政・家事	8.3	8.8	12位	171	8.8
人文・社会・自然科学	7.0	7.9	12位	153	7.9
商業実務・ビジネス関係	6.8	7.1	14位	137	7.6
英語	7.4	6.4	31位	125	9.1
介護関係	4.4	3.9	6位	75	3.4
英語以外の外国語	2.0	1.8	32位	35	2.9

*行動者数…平成 17 年 10 月 20 日から平成 18 年 10 月 19 日までの 1 年間に該当する種類の活動を行った人（10 歳以上）の数

*行動者率…行動者の 10 歳以上人口に占める割合（%）

② 「趣味・娯楽」の分野では何を行いましたか。

(行動者率 単位：%)

・文化芸術活動に関わるもの

活 動 種 類	H13	H18			H18
	長野県	長野県	全国 順位	推計行動者数 (千人)	全国
コーラス・声楽	-	3.9	1位	75	3.0
音楽会等クラシック鑑賞	11.7	12.0	3位	234	9.3
詩・和歌・俳句・小説の創作	-	3.0	4位	58	2.6
楽器の演奏	12.4	12.0	5位	234	10.5
音楽会等ポピュラー鑑賞	14.8	13.0	6位	253	12.2
絵画・彫刻の製作	-	3.8	8位	73	3.5
陶芸・工芸の製作	-	2.9	8位	56	2.5
演芸・演劇・舞踊観賞	15.4	13.1	11位	254	14.2
美術観賞	22.4	18.9	13位	367	18.5
茶 道	2.1	1.9	16位	37	1.9
カラオケ	37.9	30.8	18位	598	31.8
華 道	4.7	2.7	20位	53	2.6
C D ・テープ・レコードなどによる音楽鑑賞	-	50.0	20位	970	52.4
DVD・ビデオなどによる映画鑑賞(テレビからの録画は除く)	-	42.8	23位	830	45.9
洋 舞 ・社交ダンス	-	11.8	33位	23	17.5
映画鑑賞	28.4	28.1	39位	545	37.3
邦 楽	2.2	1.4	40位	27	1.9
書 道	-	39.7	40位	77	45.1

・文化芸術以外の活動(主なものを記載)

園芸・ガーデニング	38.0	32.1	4位	628	28.2
料理・菓子作り	19.5	18.8	4位	365	17.4
テレビゲーム	25.1	30.7	24位	596	33.0
パチンコ	13.4	10.6	38位	206	11.8

■ 県が今後取り組むべき文化芸術振興施策（平成 19 年 県政世論調査）

長野県の文化芸術を振興するために、今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。	H11	H19
n=1,439	(%)	(%)
優れたコンサート、演劇や美術作品を鑑賞できるような催しの開催	45.8	50.5
文化遺産、伝統芸能、伝統文化の保存・継承	26.0	34.6
さまざまな文化活動に参加できる機会の提供	25.9	27.6
地域や団体などの行う文化芸術活動・事業への助成	22.1	25.4
文化会館、劇場、美術館など、優れた文化芸術を鑑賞できる施設の整備	29.8	22.2
地域での文化活動を手軽にできる場所の整備	28.5	20.2
地域における文化芸術指導者の養成	6.4	11.3
文化を通じた国際交流	7.0	9.7
文化会館、美術館などを支えるボランティア活動の振興	5.2	5.5
国民文化祭(国民体育大会の文化版)など芸能文化総合フェスティバルの開催	6.6	4.9
インターネットなどによる文化情報の提供	6.4	4.5
芸術作品のコンクールや顕彰制度の充実	3.3	2.5
その他	2.1	1.9
特にない	5.9	6.7
わからない	3.6	5.4
不明	2.0	4.4

■ 県内の芸術家（国勢調査）

(単位:人、%)

	H2	H7	H12		H12/H2	
	長野県	長野県	長野県	全国	長野県	全国
文芸家・著述家	176	241	306	33,600	173.9	121.6
記者・編集者	1,026	1,289	1,381	95,899	134.6	106.8
彫刻家・画家・工芸美術家	470	721	615	38,103	130.9	121.4
デザイナー	1,046	1,277	1,479	161,393	141.4	102.9
写真家	877	989	888	66,412	101.3	105.1
音楽家	1,900	2,320	2,136	197,559	112.4	173.0
俳優・舞踏家・演芸家	491	525	659	75,773	134.2	117.6
計	5,986	7,362	7,464	668,739	124.7	122.2
(記者・編集者を除く計)	(4,960)	(6,073)	(6,083)	(572,840)	(122.6)	(125.2)
就労人口1万人当たりの人数	51.0	60.4	62.2	106.1	122.0	119.5
(記者・編集者を除く)	(42.2)	(49.8)	(50.7)	(90.9)	(122.6)	(125.2)

※ H17 調査結果については、H20. 12 月公表予定。

■ NPO・ボランティア活動

① NPO認証法人数（内閣府、生活文化課NPO活動推進室調査）

（平成20年3月末現在）

	長野県	全国
認証法人数	713	34,372
うち学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動を目的とする法人数	213 (29.9%)	11,167 (32.5%)

② ボランティア活動の種類別行動者率（平成18年社会生活基本調査）

（平成18年中）

	長野県	全国
総数	32.0% (全国第8位)	26.2%
うちスポーツ・文化・芸術に関係した活動	4.6%	4.2%

（2）文化芸術団体の現状（平成20年2月 県生活文化課調査）

■ 活動状況

5年前に比べて活動は活発になっていますか。	n=38	(%)
a 大変活発になっている (理由:会員数の増加、出品数等の増加、入場者数等の増加)		18.4
b まあまあ活発になっている (理由:会員数の増加、全国大会等への参加、質の向上)		26.3
c 変わらない (理由:定員制、定年制、高齢化)		34.2
d やや停滞している (理由:高齢化、資金の減少、補助金の減少)		18.4
e 停滞している (理由:主要メンバーの脱退による活動低下)		2.6

■ 会員数

5年前に比べた会員数や将来的な会員数の見込みはどうなりますか。	5年前と比較した会員数	将来的な見込み
n=38	(%)	(%)
a 大変増加している (するであろう)	7.9	2.6
b 若干増加している (するであろう)	18.4	34.2
c 変わらない	23.7	15.8
d 若干減少している (するであろう)	34.2	31.6
e 大変減少している (するであろう)	15.8	15.8

■ 活動を妨げる要因

活動を妨げる要因はなんですか。	
n=38 (複数回答可)	
	(%)
活動資金が足りない	63.2
会員の減少・新規会員が増えない	52.6
展示や発表をする適当な場所がない	36.8
作品制作や練習・稽古をする適当な場所がない	18.4
指導してくれる人が見つからない	7.9
活動に関する情報が少ない	7.9
その他 ()	23.7
特にない	0.0

■ 行政が取り組む施策・役割

行政が取り組む施策や役割は何が望ましいですか。	市町村が取り組むべき	県が取り組むべき
	(%)	(%)
① 優れたコンサート、演劇や美術作品等を鑑賞できる機会の提供	13.2	13.2
② さまざまな文化活動に参加できる機会の提供	21.1	18.4
③ 芸術祭、文化祭等の総合イベントの開催	13.2	21.1
④ 地域や団体等の行う文化芸術活動・事業への助成	63.2	63.2
⑤ 地域における文化芸術団体の育成や指導者の養成	21.1	13.2
⑥ 文化会館、美術館などを支えるボランティア活動の振興	2.6	2.6
⑦ 文化を通じた国際交流	2.6	10.5
⑧ 文化遺産(文化財)、伝統芸能、伝統文化の保存・継承	21.1	28.9
⑨ 作品のコンクールや表彰制度の充実	18.4	15.8
⑩ 文化芸術情報の提供	5.3	15.8
⑪ 文化会館、劇場、美術館など、優れた文化芸術を鑑賞・発表できる施設の整備	39.5	42.1
⑫ 地域での文化活動を手軽にできる場所(スペース)の確保・整備	52.6	28.9
⑬ その他 ()	5.3	5.3
⑭ 特にない	0.0	0.0

■ 県民との関わり

①小・中・高校生を対象としたイベントを開催していますか。		n=38	(%)
a 実施している (青少年育成への協力、合唱コンクール等の開催、体験会等の開催など)			55.3
b 実施していない			44.7

②一般県民向けの情報発信(ホームページの開設、機関誌の発行など)を行っていますか。		n=38	(%)
a 実施している (HPの開設、テレビ・地元新聞への掲載、機関誌等の発行、ポスター掲示)			47.4
b 実施していない			52.6

■ 企業等からの支援

一般県民や民間企業からの支援(資金の寄付、ボランティア支援など)を受けていますか。		n=38	(%)
a いる			21.1
b いない			78.9

■ 県芸術文化協会加盟団体の傘下団体数及び会員数(県芸術文化協会調査)

(単位:人、%)

分野	H13(43団体)		H19(37団体)		H19/H13	
	団体数	会員数	団体数	会員数	団体	会員
美術	116	7,603	104	7,032	89.7	92.5
音楽	1,547	32,500	1,589	33,082	102.7	101.8
邦楽・芸能	203	21,680	112	13,631	55.2	62.9
演劇	36	428	13	105	36.1	24.5
舞踊	23	1,268	24	1,190	104.3	93.8
文芸	32	1,960	2	1,400	6.3	71.4
地域	502	18,313	253	8,868	50.4	48.4
計	2,459	83,752	2,097	65,308	85.3	78.0

(3)文化施設の現状

■ 文化施設数(社会教育調査)

		H2	H5	H8	H11	H14	H17 順位		人口10万人当たり	順位
文化会館	全 国	1,010	1,261	1,549	1,751	1,832	1,885	—	1.48	—
	長野県	33	40	43	49	47	48	12	2.19	13
博物館	全 国	799	861	985	1,045	1,120	1,196	—	0.94	—
	長野県	45	56	65	71	73	76	2	3.46	1
	うち美術博物館	14	19	23	27	30	33	2	1.50	1
図書館	全 国	1,950	2,172	2,396	2,592	2,742	2,979	—	2.33	—
	長野県	63	72	80	90	98	108	6	4.92	4
公民館	全 国	17,347	17,562	17,819	18,257	17,947	17,143	—	13.42	—
	長野県	1,913	1,955	1,959	1,982	1,996	1,852	1	84.33	1

(注) 1 文化会館の数は、固定席数300席以上のホールを有するもの(私立施設を含む)

2 博物館の数は、博物館法による登録博物館及び博物館相当施設の合計(私立施設を含む)

■ 県立文化施設の利用状況(生活文化課調査)

(単位:人、%)

	17		18		19	
	利用者数	前年比	利用者数	前年比	利用者数	前年比
県民文化会館	384,701	96.1	411,164	106.9	425,010	103.4
伊那文化会館	137,089	89.1	135,379	98.8	135,583	100.2
松本文化会館	246,984	87.7	254,425	103.0	268,611	105.6
信濃美術館	183,330	131.3	150,060	81.9	310,542	206.9
佐久創造館	93,369	95.1	135,523	145.1	135,320	99.9
飯田創造館	62,258	84.1	63,344	101.7	67,574	106.7
計	1,107,731	89.1	1,149,895	103.8	1,342,640	116.8

■ 県内美術館入館者数(平成19年9月生活文化課調査)

(単位:人)

入館者数		差	H18/H8
H8	H18		
2,721,655	1,607,466	△1,114,189	△40.9%

※H19.9月 県内96公私立美術館対象に調査、48館から回答。

■ 指定管理者導入状況

・ 県内の文化会館の指定管理者導入状況（平成18年全国公立文化施設協会調査）

	施設数	うち指定管理者導入施設					指定管理者 導入割合 (%)
		公共的団体 ((財)含む)	民間	NPO	その他		
全国	2,189	881	724	116	26	15	40.2
長野県	県	3	3	2	1		100.0
	市	31	16	11	4		51.6
	町	10	2	1	1		20.0
	村	10					0.0
	組合	1					0.0
	計	55	21	14	6	0	0

(4) 地域の伝統文化

■ 県内無形民俗文化財の現況（教育委員会調査）

(平成20年4月21日現在)

(単位:件)

	総計	指定		選択		市民 町俗 村文 無化 形財	代表的な無形民俗文化財
		重民 要俗 無文 化形 財	県文 無形 化民 俗財	国文 無形 化民 俗財	県文 無形 化民 俗財		
佐久地域	27	1	5	1	—	20	跡部の踊念仏(佐久市)重要 御影新田の道祖神祭り(小諸市)県指
上小地域	18	—	—	3	2	13	別所温泉の岳の幟行事(上田市)国選 上田市八日堂の蘇民将来符頒布習俗(上田市)国選
諏訪地域	11	—	2	—	—	9	諏訪大社の御柱祭り(諏訪地域全域)県指 騎馬行列の所作(下諏訪町)町指
上伊那地域	17	—	—	—	2	15	山寺のやきもち踊りの習俗(伊那市)県選 古田人形(箕輪町)県選
下伊那地域	42	4	6	9	8	15	伊那の人形芝居(飯田市・阿南町)国選 大島山の獅子舞(高森町)県選
木曾地域	23	—	2	1	3	17	駒ヶ岳神社の太々神楽(上松町)国選 田立の花馬祭り(南木曾町)県指
松本地域	50	—	3	2	2	43	島立堀米の裸祭り(松本市)県指 穂高神社のお船祭りの習俗(安曇野市)県選
大北地域	8	—	5	—	—	3	仁科神明宮の神楽(大町市)県指 大宮諏訪神社の狂拍子と奴踊り(小谷村)県指
長野地域	31	1	3	3	1	23	高岡の小豆焼き行事(長野市)国選 雨宮の神事芸能(千曲市)重要
北信地域	27	1	3	—	5	18	五束の太々神楽(飯山市)県指 野沢温泉の道祖神祭り(野沢温泉村)重要
県内一円	10	—	—	8	2	—	信濃の火鑽習俗(国選) 中馬制(国選)
計	264	7	29	27	25	176	
平成10年度	191	6	24	23	17	121	

(5)子どもたちの文化活動

■ 伝統芸能・伝統工芸学習に取り組んでいる学校数

① 平成 19 年度の状況

(H19 学校経営概要: 小学校 389 校、中学校 193 校)

		種類	校数	種類	校数	種類	校数	種類	校数	種類	校数	種類	校数
小学校 (延べ 1,203校)	伝統 工芸	しめ縄	167	わら細工	92	陶芸	77	和紙	18	染色織物	24	木工	38
		水引き	9	手芸	60	竹細工	46	漆器	4	硯作り	0	炭焼き	17
		鎌作り	2	精密業	5	石細工	3	籐芸	9	和傘	0		
	芸能	和太鼓	111	踊り民謡	69	琴	61	歌舞伎	3	祭り	28	神楽	8
		浄瑠璃	1	茶道	66	笛	10	獅子舞	11	能	3	郷土甚区	10
		生け花	59	剣舞	1	三番曳	3	昔の遊び	137	その他	51		

		種類	校数	種類	校数	種類	校数	種類	校数	種類	校数	種類	校数
中学校 (延べ 470校)	伝統 工芸	しめ縄	18	わら細工	20	陶芸	16	和紙	10	染色織物	11	木工	23
		水引き	4	手芸	12	竹細工	11	漆器	3	硯作り	0	炭焼き	6
		鎌作り	2	精密業	3	石細工	0	籐芸	6	和傘	1		
	芸能	和太鼓	66	踊り民謡	22	琴	51	歌舞伎	5	祭り	15	神楽	7
		浄瑠璃	3	茶道	46	笛	18	獅子舞	10	能	0	郷土甚区	4
		生け花	30	剣舞	2	三番曳	3	昔の遊び	16	その他	26		

※ 社会人講師等を活用した学習内容のうちの「伝統工芸・芸能等」の答えの校数の集計（複数回答）

② 年度別取組延べ学校数

(単位：校数)

		H17	H18	H19
小学校	伝統 工芸	550	570	571
	芸能	588	648	632
	計	1,138	1,218	1,203

		H17	H18	H19
中学校	伝統 工芸	150	153	146
	芸能	321	343	324
	計	471	496	470

■ 長野県学校巡回劇場（県教育委員会調査）

	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度(見込)
公演回数	26	11	10	15	16	12回
鑑賞校数	44	22	17	20	32	18校
鑑賞人数	7,113	2,678	4,596	6,197	8,179	3,830人

- 生の舞台芸術を鑑賞する機会の少ない地域の児童・生徒を対象とする事業。小・中学校の体育館等を舞台に演劇、人形劇等を上演。

■ 本物の舞台芸術体験事業（県教育委員会調査）

	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度(見込)
公演回数	6	6	10	5	6	10回
鑑賞校数	6	6	10	5	11	10校
鑑賞人数	2,594	2,827	3,389	1,388	11,348	

- 文化庁が、合唱、オーケストラ、演劇、舞踊、文楽、音楽劇の公演団体を、小・中・高等学校に派遣し、芸術文化の鑑賞機会を提供するとともに、専門家による実演指導、鑑賞指導を行う。

(6)文化財の保護・継承・活用

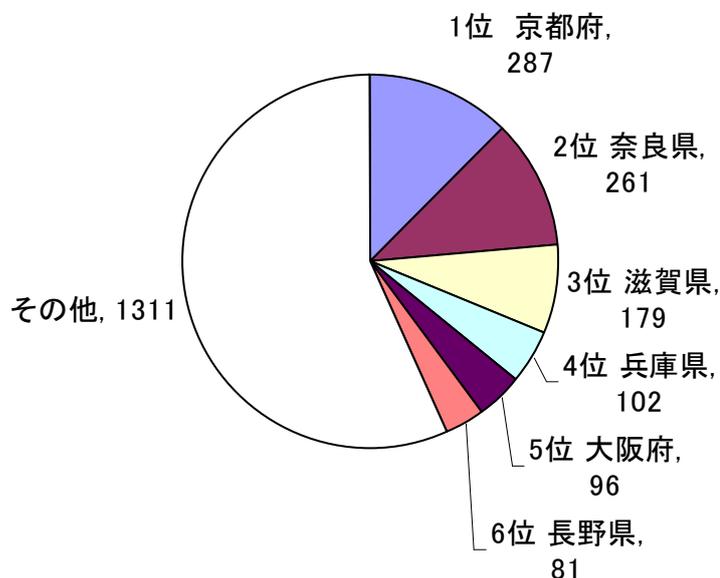
■ 指定文化財件数（県教育委員会調査）

(平成20年4月21日現在)

区 分		件数		備 考
		H20	H10	
国 指 定	国 宝	7	7	安楽寺八角三重塔、松本城天守、 大法寺三重塔、仁科神明宮、善光寺本堂、 土偶(縄文のビーナス)、楽焼白片身変茶碗
	重要文化財	167	158	建造物77件、美術工芸品90件
	重要民俗文化財	14	13	七夕人形コレクション等 有形 7件 雪祭、新野の盆踊等 無形 7件
	特別史跡	1	1	尖石石器時代遺跡
	特別名勝特別天然記念物	1	1	上高地
	特別天然記念物	4	4	白馬連山高山植物帯、ライチョウ、カモシカ、 白骨温泉の噴湯丘と球状石灰石
	史 跡	32	30	集落跡13件、城跡6件、古墳4件、学校等2件等
	名 勝	4	3	寝覚の床、天竜峡、光前寺庭園、姨捨(田毎の月)
天然記念物	23	22	植物11件、動物5件、地質・鉱物5件等	
小 計		253	239	
県 指 定	県 宝	205	166	建造物64件、美術工芸品141件
	県民俗文化財	33	28	蚕糸資料コレクション等 有形 4件 和合の念仏踊り等 無形29件
	県史跡	69	66	集落跡6件、城跡26件、古墳16件、陣屋跡3件等
	県名勝	5	5	田立の滝、中田氏庭園、三本滝、奥裾花峡谷等
	県天然記念物	104	88	植物62件、動物20件、地質・鉱物8件、化石11件等
	小 計		416	353
合 計		669	592	
国選定	重要伝統的建造物群保存地区	5	3	妻籠宿、奈良井、海野宿、青鬼、木曾平沢
国登録	登録有形文化財	334	13	山崎歯科医院、藤屋旅館、旧鈴木歯科診療所等
国選択	選択無形民俗文化財	27	23	雪祭りの芸能等
県選択	選択無形民俗文化財	25	17	おたや祭りの習俗、味の文化財等

■ 国指定・登録文化財の全国順位（建造物：国宝・重要文化財）

（単位：件）



資料：文化庁「国宝・重要文化財等都道府県別指定件数一覧」（平成19年11月現在）

(7)文化芸術を活かした地域づくり

< 事例の紹介 >

○長野の夏は各地で“芸術祭”

(例)・いいだ人形劇フェスタ（飯田市）8月上旬 / サイトウ・キネン・フェスティバル松本（松本市）8月中旬～9月上旬 / 軽井沢八月祭（軽井沢町）8月中旬 / アフィニス夏の音楽祭（飯田市）8月中旬 / 木曽音楽祭（木曽町）8月下旬 / NAGANO 国際音楽祭（上田市）8月下旬 / 軽井沢国際音楽祭（軽井沢町）8月下旬

・コンサート等の公演だけでなく、関連事業も積極的に取入れ、地域の活性化、観光振興にも一役。運営にボランティアも大きな役割。

○文化施設の共同誘客キャンペーン

- (例)・「安曇野アートライン」(安曇野市ほか)－北アルプスの麓にある17美術館と地元市町村が共同で行う誘客キャンペーン。共通割引券の発行、マップ作成等。
- ・「諏訪の長い夜」(諏訪市ほか)－毎年7月下旬に、諏訪湖畔に点在する14の美術館・博物館を深夜まで開放し、併せてコンサート等の文化イベントを行うイベント。共通パスポートの販売、シャトルバスの運行等。

○映画等のロケーション撮影の誘致・支援

- ・映画、テレビドラマ、CMなどのロケーション撮影を誘致し、実際のロケをスムーズに進めるための支援を行う。全国フィルムコミッション連絡協議会に県内5団体が加盟(長野市、上田市、松本市、塩尻市、諏訪市)。
- ・ロケ撮影に伴う宿泊・飲食等地域経済へ貢献。撮影された映画等の放映による地域のイメージアップや知名度アップが期待される。

(8)国・県・市町村等の文化芸術振興施策

■ 文化芸術関連事業への国・県及び関連団体の主な補助実績(生活文化課調査)

助成主体	助成内容		H15	H16	H17	H18	H19
国 (文化庁)	地域文化リーダー、 文化団体の育成	件数	2	2	3	2	2
		助成額	15,100	15,727	2,311	1,353	7,272
県 (市町村課)	地域の文化振興に資 する助成等 ※	件数	38	25	10	36	46
		助成額	46,762	24,600	17,595	37,596	49,612
県 (生活文化課)	県民芸術祭参加事業 共催負担金等	件数	46	44	49	50	49
		助成額	8,842	8,701	8,838	6,902	7,814
(独法)日本芸術文化 振興会	文化施設・アマチュア 等の文化団体活動	件数	7	9	8	9	6
		助成額	2,300	4,900	2,900	12,100	7,000
(財)地域創造	地域の文化・芸術活 動支援	件数	6	10	7	9	10
		助成額	19,700	48,000	35,700	42,210	43,300

※「地域発元気づくり支援金」等のうち地域の文化芸術振興に係る事業分を掲載

■ 建造物等有形文化財の修理、防災等に対する補助実績(教育委員会調査)

①国・県補助

(単位:件、千円)

		H15	H16	H17	H18	H19
国庫補助金	件数	50	52	47	48	46
	金額	689,980	671,991	615,096	626,830	648,609
県費補助金	件数	40	37	34	30	38
	金額	83,534	52,932	41,484	38,784	55,445

②民間団体助成

(単位:件、千円)

		H15	H16	H17	H18	H19
(財)文化財保護・ 芸術研究助成財団等	件数	2	3	2	1	2
	金額	800	3,700	1,900	500	1,900

■ 無形民俗文化財の保存、伝承等に対する補助実績 (教育委員会調査)

①国・県補助

(単位:件、千円)

		H15	H16	H17	H18	H19
国庫補助金	件数	2	1	3	3	4
	金額	2,750	1,250	5,050	4,800	6,050
県費補助金	件数	2	1	2	1	2
	金額	550	250	510	260	510

②ふるさと文化再興事業(文化庁委託)

(単位:件、千円)

		H15	H16	H17	H18	H19
(財)伝統文化活性化 国民協会	件数	109	96	123	164	155
	金額	73,658	45,138	58,532	69,658	64,946

③民間団体助成

(単位:件、千円)

		H15	H16	H17	H18	H19
(財)日本芸術文化 振興会等	件数	1	4	4	2	1
	金額	300	3,000	1,030	1,700	600

■ 文化芸術関係経費の推移 (生活文化課、文化財・生涯学習課調査)

(単位:百万円)

		H15	H16	H17	H18	H19
全 国	都道府県	108,266	128,342	116,778	96,714	-
	市町村	385,105	336,172	281,474	280,862	-
	計	493,371	464,514	398,252	377,576	-
長 野 県	県	2,059	1,778	1,746	1,620	1,603
	市町村	21,507	11,356	7,320	8,956	-
	計	23,566	13,134	9,066	10,576	-

■ 文化芸術振興に係る市町村アンケート（平成20年2月 生活文化課調査）

①文化芸術振興施策

文化振興施策について (複数回答可) n=61	市町村が最近5年間に重点的に取り組んだ施策 (%)	市町村が今後、重点的に取り組む施策 (%)	県が今後、重点的に取り組むべき施策、役割 (%)
優れたコンサート、演劇や美術作品等を鑑賞できる機会の提供	45.9	27.9	31.1
さまざまな文化活動に参加できる機会の提供	37.7	31.1	9.8
芸術祭、文化祭等の総合イベントの開催	55.7	32.8	6.6
地域や団体等の行う文化芸術活動・事業への助成	52.5	31.1	57.4
地域における文化芸術団体の育成や指導者の養成	6.6	34.4	32.8
文化会館、美術館などを支えるボランティア活動の振興	3.3	13.1	13.1
文化を通じた国際交流	0.0	1.6	11.5
文化遺産（文化財）、伝統芸能、伝統文化の保存・継承	41.0	44.3	31.1
作品のコンクールや表彰制度の充実	3.3	3.3	4.9
文化芸術情報の提供	13.1	13.1	23.0
文化会館、劇場、美術館など、優れた文化芸術を鑑賞・発表できる施設の整備	6.6	16.4	19.7
地域での文化活動を手軽にできる場所（スペース）の確保・整備	11.5	14.8	9.8
その他（ ）	1.6	3.3	0.0
特にない	0.0	0.0	1.6

②文化芸術活動への支援についての課題

文化芸術活動等への支援についての課題・問題はなんですか。 (複数回答可) n=61	(%)
文化団体の会員の減少、新規会員募集が難しい	70.5
貴団体の財政上の問題(財源がない)	55.7
貴団体の指導者不足(専門職員がいない等)	50.8
文化団体の資金不足	26.2
創作、練習、修練の場所(施設)がない	4.9
その他（ ）	4.9
特にない	4.9
成果発表の機会・場所がない	1.6
支援対象となる団体がない	0.0

(9) 現状と課題（まとめ）

1 文化芸術を楽しむ心は県民に根付いており、多様な文化芸術活動が繰り広げられています。

- ・ 県民の「心の豊かさ」を求める意識は年々高まりを見せており、文化芸術活動に対する関心は高いものがあります（「非常に関心ある」「ある程度関心ある」が66.1%）。
- ・ 県民の文化芸術に係る活動参加者の割合は、全国の中でも高い水準にあります。特に、「コーラス・声楽」は全国第1位、「音楽会等クラシック鑑賞」は第3位、「楽器の演奏」は第5位、「音楽会等ポピュラー鑑賞」は第6位、「絵画・彫刻の制作」「陶芸・工芸の制作」はともに第8位となっています。
- ・ 地域で行われる文化芸術イベントの運営にボランティアが大きな役割を果たすなど、県民の文化芸術活動に対する参加の方法は多様化しています。
- ・ 県の文化芸術振興施策に対する県民のニーズは、①優れたコンサート、演劇や美術作品を鑑賞できる催しの開催、②文化遺産、伝統芸能、伝統文化の保存・継承、③様々な文化活動に参加できる機会の提供、④地域や団体などの行う文化芸術活動・事業への助成、が多くなっています。

2 県内の芸術文化団体の活動状況は、活発になっている団体が多い一方で、約2割は停滞と回答しています。会員の減少傾向が続いています。

- ・ 活動が5年前に比べ「活発になっている」団体は44.7%。一方、「停滞している」団体は21.0%となっています。会員数は、5年前に比べ「減少している」団体が50.0%で、将来的にも減少を見込む団体が47.4%と多くなっています。
- ・ 課題として、「活動資金が足りない」（63.2%）、「会員の減少・新規会員が増えない」（52.6%）をあげる団体が多くなっています。
- ・ 「小中高校生を対象としたイベントの開催」（55.3%）や「一般県民向けに情報発信をしている」（47.4%）団体は約半数にとどまっています。

3 本県は、国宝、重要文化財をはじめ、数多くの貴重な文化財が所在する全国有数の県です。地域の文化的・歴史的資産の確実な継承を図る必要があります。

- ・豊かな自然環境や歴史などを背景に各地域に豊かな文化が生まれ、数多くの伝統的な地域文化や文化財が残されており、県民共有の財産であるこれらを保護し、継承していく必要があります。
- ・文化財保護の対象となる文化財の指定に積極的に取り組むとともに、建造物等の文化財の修理、防災等については、助成制度を有効に活用し、適切な保存に努めています。また、無形民俗文化財等の地域に根ざした民俗芸能についても、助成制度を有効に活用し、保存、継承に努めています。
- ・今後取り組むべき文化芸術振興施策として「文化遺産、伝統芸能、伝統文化の保存・継承」をあげる県民が多く、その割合は従来より高くなっています。
- ・地域の歴史、伝統、文化を地域の文化創造や魅力づくりに生かすとともに、地域資源、観光資源として活用していくことが期待されています。

4 学校教育においては、これまでの芸術科目に加え、日本の伝統文化や芸能に関する学習や体験が重視されつつあります。

- ・平成18年12月の教育基本法の改正により、教育の目標の一つとして「伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛する態度を養うこと」があげられ、各学校においても取組が増加しつつあります。
- ・小中学校においては、伝統文化や芸能に関する学習や体験を、地域の皆さんの協力も得ながら、主に総合的な学習の中で取り入れています。さらに充実するためには、地域との連携による学習環境の整備（講師、場所、モノ等）が必要です。
- ・子どもたちが優れた文化芸術に触れ、体験する機会として、「サイトウキネンフェスティバル子どものための音楽会」「学校巡回劇場」「本物の舞台芸術体験事業」などを実施しています。参加校は増加傾向にあります。
- ・合唱や吹奏楽などの音楽の分野では、全国レベルの大会やコンクールへの参加校も多く、毎年優秀な成績を修めています。

5 県内の文化施設の整備水準は全国でもトップクラス。指定管理者制度^(注)導入施設も多く、工夫を凝らした運営がされています。

- ・県内の博物館（美術館を含む）、公民館の人口 10 万人当たり整備率は全国第 1 位。図書館は第 4 位、文化会館は第 13 位で、文化施設の整備水準は全国でもトップクラスです。ただし、老朽化で建替えや改修時期を迎えた施設も多くあります。
- ・県内の文化会館の約 4 割が指定管理者制度を導入し、民間のノウハウを生かしたサービスの向上が図られています。一方、長期的な視点に立った事業展開や地域との連携、専門的人材の確保等の課題もあります。
- ・県の文化芸術振興施策に対する県民のニーズは、施設整備から、ソフト面の施策の充実にシフトしています。

(注) 指定管理者制度—地方公共団体の施設の管理を民間事業者等に代行させる制度。民間事業者のノウハウを生かし、サービスの向上と経費節減を図ることが目的。(H15.9 地方自治法改正)

6 文化芸術活動を生かした地域づくりや観光振興の取り組みが盛んに行われています。

- ・地域の個性の画一化、連帯感の希薄化が地域の抱える大きな課題となっていますが、個性的で魅力ある地域づくりや観光振興を進める中で、地域の魅力を引き出す身近な文化資源を見直し、生かそうとする取り組みが県内のさまざまな地域で進められています。
- ・長野発の文化の発信のためには、民間と行政の協働、さまざまな分野の施策との連携が求められています。

2 文化芸術を取り巻く社会情勢の変化

国内外の社会情勢は、少子高齢化・人口減少の加速、グローバル化の進展、情報通信技術の発達、安全・安心や環境に対する意識の高まり、価値観・ライフスタイルの多様化、公共の担い手の多様化、地方分権の進展、国・地方を通じた厳しい財政状況など、急速な変化を続け、文化芸術を取り巻く状況にも大きく影響しています。

○ 少子・高齢化・人口減少の加速

長野県では、全国に先行して平成 13 年から人口の減少が続いています。また高齢化が全国平均より高い水準で進んでいることから、今後人口減少は加速度的に進行していくものと予測されます。

○ 価値観・ライフスタイルの多様化

経済的発展や平均寿命の延びなどを背景に、個人の価値観やライフスタイルの多様化が進み、心の豊かさを重視し、自然や芸術文化、健康への志向など生活の質を大切にする意識などが広がっています。

長野県は、全国でも有数の健康長寿県であり、健康づくりや文化芸術活動、ボランティアや地域づくりの実践など、生涯を通じた生活の充実を希求する県民意識が一段と高まっています。

○ 公共の担い手の多様化

社会の成熟化、社会貢献意識の高まりなどを背景に、公共の分野の活動を、個人、ボランティア、NPO、各種団体など多様な主体が担いつつあります。行政と行政以外の公共の担い手が共通の目的意識と責任感を保ちながら、連携、協働していくことが重要です。

長野県は、人口 10 万人当たりのNPO法人数やボランティア活動への参加率が全国でも上位となっています。

○ 国・地方を通じた厳しい財政状況

税収の落ち込み、公債残高の累増、社会保障関係費の増加などにより、国・地方を通じて極めて厳しい財政状況が続いています。行財政改革を計画的かつ着実に推進し、持続可能な行財政基盤を確立していく必要があります。

長野県及び県内市町村の文化芸術関係経費は、厳しい財政状況の中で全国の地方公共団体と同様、減少傾向にあります。